

2024 年度

事業シート

事業名	職員福利厚生費助成金	事業開始年度	不明
上位施策事業名	職員福利厚生事業	担当局・部名	総務部
根拠法令等	地方公務員法第42条、地方自治法第232条の2、 入間市職員福利厚生事業費補助金交付要綱	担当課・担当名	人事課・星野
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	作成責任者	宮澤 昌樹

実施の背景	助成を始めた正確な時期については不明であるが、現在の職員労働組合になる以前（職員組合）から支出している。職員労働組合へ市から助成している「職員福利厚生事業助成金」は、地方公務員法第42条の規定に基づき、同組合が実施している職員への福利厚生事業（厚生活動費）に対して助成しているものであり、同組合の運営費に対して助成しているものではない。
-------	--

目 的 (何のために)	職員の保健、元気回復その他厚生に関する事業に対して補助金を交付することで、事業の円滑なる推進と個人負担の軽減を図り、公務能率の向上に資することを目的とする。
------------------------	---

対 象 (誰・何を対象に)	入間市役所職員労働組合厚生部が行う職員のための福利厚生事業	対象者数（全住民に対する割合）	
		人	%)

実施方法	☐ 直接実施
	☐ 業務委託 又は ☐ 指定管理 （委託先又は指定管理者： ）
	☒ 補助金〔 <u>直接</u> ・間接〕（補助先： 実施主体： ）
	☐ 貸付（貸付先： ） ☐ その他（ ）

事業概要	事業内容 (手段、手法など)	事業内容
		入間市職員福利厚生事業費補助金交付要綱に基づき、入間市役所職員労働組合厚生部が行う職員のための福利厚生事業に要する経費のうち福利厚生活動に要するものに対して助成金の支出を行う。支出については職員労働組合から交付申請により提出された決算書等で収支状況などを精査し、補助金の額は、予算の範囲内で決定する。

関連事業 (同一目的事業等)	埼玉県市町村共済組合福祉事業
---------------------------	-----------------------

		2024 年度（予算）				2023 年度（決算）				2022 年度（決算）				2021 年度（決算）				
コスト	事業費合計	1,400		千円	1,400		千円	1,373		千円	1,129		千円					
	事業費内訳 （2023年度分）	・映画チケット事業 214,800円 ・西武園フリーパス事業 360,440円 ・会員保養所事業 827,761円 ・東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム 235,780円 ・車両貸出事業 330,489円 ・分担金（厚生事業にかかる事務手数料） 51,025円 受益者負担を除く補助対象経費合計 2,020,295円（うち43.6%の140万円助成）																
	人件費	担当正職員	0.005	人	7,900	千円	0.005	人	7,900	千円	0.005	人	7,900	千円	0.005	人	7,900	千円
		臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
		人件費合計	0.005	人	7,900	千円	0.005	人	7,900	千円	0.005	人	7,900	千円	0.005	人	7,900	千円
	総事業費	1,439		千円	1,439		千円	1,412		千円	1,168		千円					

財源 内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円
		国県支出金の内容							
	地方債		千円		千円		千円		千円
			千円		千円		千円		千円
	その他特財								
		その他特財の内容							
一般財源	1,439	千円	1,439	千円	1,412	千円	1,168	千円	
財源合計	1,439	千円	1,439	千円	1,412	千円	1,168	千円	

事業シート

事業名		職員福利厚生費助成金				事業開始年度		不明	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度		
		映画チケット事業		件	688 /	613 /	440 /		
		西武園フリーパス事業		件	162 /	161 /	0 /		
		会員制保養所事業		人	94 /	112 /	58 /		
		東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム		件	218 /	203 /	102 /		
		車両貸出事業		日	50 /	22 /	23 /		
	単位当たりコスト	総事業費	/	利用件数合計		1,187円	1,271円	1,875円	
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	職員の保健、元気回復その他厚生に関する事業の利用者数を前年実績値以上とする。 現在の事業では指標となるのは利用者数しかなく、利用者数が増えることで職員の満足度も上がったと捉えることができる							
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度		
		映画チケット事業		件	688 /	613 /	440 /		
		西武園フリーパス事業		件	162 /	161 /	0 /		
		会員制保養所事業		人	94 /	112 /	58 /		
		東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム		件	218 /	203 /	102 /		
		車両貸出事業		日	50 /	22 /	23 /		
自己評価		廃止・凍結		国・県・広域		要改善		☒ 現行通り・拡充	
評価の内容		補助金を廃止し直営事業とした場合は、人件費だけで現在の総事業費を上回ることも想定され、現在の総事業費でこの成果（利用者数）を上げることは難しいと考える。 したがって、現状維持が最適であるとする。							
課題	2023年度	市から職員労働組合への助成金であり、同組合の運営費に対しての助成として誤解されることがある。 職員労働組合も売店の縮小なども検討しているようで、事業の縮小等が提案される可能性がある。							
	2024年度								
今後の予定		令和6年度は、現状維持で事業を実施する。 以降についても、独自の福利厚生による職員の勤労意欲の向上を図るため現状維持の方向で考えているが、職員数の減少や組合の事業減少なども考慮する必要がある。							
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		特になし							
特記事項		特になし							